

明るく元気の出る町

平成14年10月1日発行・毎月1日 編集・発行／秋田県東由利町企画課

ひがしゆり

HIGASHIYURI



東由利町

2002

10

NO.571



町イメージ
キャラクター
「モウ太くん」

世界でたった一つの作品

全県野焼きを楽しむつとい

議会の月定例会

教育委員に新田氏 監査委員は畠山氏

町議会九月定例会が十日から二十日まで十一日間の会期で開かれ、十四年度一般会計補正予算案、十三年度一般会計決算認定案など原案どおり可決、認定。また任期満了に伴う教育委員会委員の任命、監査委員の選任について同意されました。以下可決された主な議案、行政報告、一般質問など概要をお知らせします。



主な議案

《町税条例の一部を改正する条例》

地方税法の一部改正に伴い、上場株式等を譲渡した場合の町民税の課税についての特例が新たに追加されたもの。

《町国民健康保険税条例の一部を改正する条例》

▼地方税法の一部改正に伴い、国民

健康保険税の所得割額の算定方法を次のように改正▽総所得特別控除の廃止（最高二万円）▽青色申告事業専従者給与および事業専従者控除の適用▽公的年金等特別控除の廃止（十七万円）▽長期譲渡所得等特別控除の適用

※ただし、改正後の条例の規定は、平成十五年以降の年度分の国民健康保険税に適用し、平成十四年度分までの国民健康保険税については、従前の例による。

▼一月一日現在において、株式譲渡にかかる特定口座を有する所得割の納税義務者は町民税の申告書を提出することを要しない▽上場株式等にかかる譲渡損失の繰越控除にかかる国民健康保険税の課税の特例が追加

《役場新庁舎外構整備工事

請負変更契約の締結

契約金額六千三百万円を七千三十五万円に改めたもの。

《地域インターネット

整備工事請負契約の締結

▼契約金額・五千三百五十五万円／（株）ユアテック本社営業所（本荘市）

《一般会計補正予算》

平成十四年度一般会計の歳入歳出予算にそれぞれ九千九百九十五万八千円を追加し、予算総額を五十億四千三百十九万九千円としたもの。追

加となった主な歳出補正予算の内訳は次のとおり。

▼新庁舎竣工記念品百六十八万円▼乳児保育促進事業費補助金百十四万二千元▼合併処理浄化槽設置費補助金二百六十八万円▼粗大ごみ処理場擁壁工事費二十六万円▼農業用施設維持管理費補助金二百九十五万八千円▼森林整備地域活動支援交付金千七百四十五万円▼根城線舗装工事費九百一十一万八千円▼融雪災害復旧工事費（十カ所）四千二百二十九万六千円

《国民健康保険事業

勘定特別会計補正予算

平成十四年度東田利町国民健康保険事業勘定特別会計の歳入歳出予算にそれぞれ八百三十九万四千円を追加し、予算総額を四億六千九百五十八万六千円としたもの。歳出追加の主な内訳は十三年度事業精算償還金。

《監査委員の選任》

監査委員の任期満了に伴い、畠山卓三氏（六十七歳・袖山・新任）の選任に全会一致で同意を得たもの。

《教育委員の任命》

教育委員会委員の任期満了に伴い、新田清氏（六十歳・本荘市・新任）の任命に全会一致で同意を得たもの。

町長行政報告

《町民福祉課》

敬老会・七十歳を祝う会▼六月二十日。対象者は敬老会七百三十一人、七十歳を祝う会五十三人。出席者三百二十四人。

町消防訓練大会▼七月二十一日。百二十三人参加。総合一分団、自動車ポンプ操法一分団一班、小型ポンプ操法五分団二班が優勝。

町戦没者追悼式▼八月二十三日。戦後五十七年目の開催。

住民基本台帳ネットワークシステム

▼八月五日から開始。トラブルなく一カ月経過。個人情報保護管理、セキュリティ対策に万全を期し実施中。

百歳長寿祝い金・祝い状▼東光苑入所者佐藤アキさんが九月四日百歳に。条例に基づき町から祝い金五十万円と祝い状、県から十万円と記念品贈り長寿を祈念。

《産業課》

稲作▼平年並みの気温でも降水量は二倍、日照時間は三分の一度。作況見込み「平年並み」。

台風7号による被害▼水路十七カ所、農道四カ所、農地三カ所、頭首工一カ所。被害規模の大きいものを年内に復旧工事。

転作▼目標面積三七四 に対し実績見

込み三八二。達成率一〇二（見込み）。

航空防除▼四八五 を三回実施。

畑作▼主要野菜（ミニトマト・サヤインゲン・馬鈴薯）販売数量、販売金額は前年比六〇～七〇。台風とその後日照不足など影響。

葉たばこ▼台風後「立枯病」が全町に確認され、減量、品質低下が必至。町が薬剤（バスアミド微粒剤）購入に助成。

無登録農薬▼八月二十九日果樹農家（りんご・栗・ブルーベリー）十六戸に聞き取り調査実施。使用認められず。

仔牛市場▼四～九月上場頭数は二百五十頭で前年同期比微増。狂牛病騒動以後昨年十二月市場で二十八万円まで急落した一頭平均価格は、四月以降回復基調となり五月市場で四十万円台まで回復、七～九月は昨年同期の水準に戻った。

共進会▼第五回秋田しんせい農協畜産共進会（九月十九日・本荘市広域家畜市場）に十八頭出陳。肉用牛・団体の部で準優勝。

第八回全国共進会への出陳はなし。

森林整備地域活動支援事業▼本荘由利郡内九市町で実施予定。パンフレット作成し六地区で説明会開催。十四年度事業予定面積は森林組合一、五二九、林業公社二二六 計一、七四五。

《建設課》

一〇七号板戸工区▼板戸地内石橋氏前護岸工事ほぼ完成。今後下流側の護岸

工事、トンネル入り口付近までの河川付け替え工事予定。トンネル工事は十五～十六年度着工予定。久保く黄桜トンネル間は十七年度完成予定。

神岡・南外・東由利線▼橋瀬・横渡立体交差点工事完了。九月上旬に橋梁上部工、十月に道路本体の掘削盛土工事発注予定。新処地区流雪溝工事は順調で今冬使用可能の見込み。

仁賀保・矢島・館台線▼須郷峠付近で路面が陥没し現在ボーリング調査中。今後の予定工事に影響の可能性。

横手・東由利線▼笹倉トンネル手前のなだれ・落石防止で調査測量と一部工事を予定。

台山線（歩道）▼菊地理容店く櫛野氏付近、牡丹野格納庫く跡見坂計五四〇の改良工事を（株）佐藤組が落札し工事中。今後建物調査等予定。

根城線（改良）▼一七四 を（有）大庭建設が落札し降雪前の完工目指し工事中。

土場沢線（林道）▼改良舗装を計画。測量後の発注で工期は十五年三月。

石塚線（同）▼一、七八〇 の舗装工事を（株）大沼組が落札し着工中。今後延長箇所路線測量、用地測量予定。

袖山沢中線（同）▼七四二 の改良工事を（有）長谷山建設が落札し着工中。降雪前には全線が完了。

桧ノ沢線（同）▼七七二 の舗装工事を（株）大沼組が落札し工事中。

蒲台線（同）▼県のフォレストコミュニティ総合整備事業で十五年度から着

工。二十一年度完成予定。

上水道▼下水道工事と併行で法内地区、島・宮ノ前、蔵地区で改良工事中。水道料金滞納は十一年度以降十五件（八人）で累計額は八十二万三千元。

下水道▼法内地区一、六七五、宮ノ前・蔵地内一、三八二、歩道工事関連二件八二四、終末処理場ほか発注十三年度末の加入率は戸数割合で四四・二、人口割合で五一・七。

《企画課》

市町村合併▼七月十日～二十二日七地区で座談会。八月二十七日自治会長会議。八月五日館合第二寿会と意見交換会開催。町内全戸（千三百一戸）に「市町村合併に関する町民意識調査」実施。七二・三 の回収率。

「湯楽里」休憩室増築▼男女浴室間に二四畳の和室を建設中。工期は十月十五日。

《教育文化課》

板戸・松沢地区スクールバス▼七月一日運行開始。

中学生海外研修▼八月七日～十五日由利中学校（由利町）と合同で実施。オーストラリアで交流とホームステイ中心に研修。

《庁舎建設室》

新役場庁舎▼八月末工事進捗率は本体六二、機械設備四六、電気設備二五、公用車庫二八、全体では三六。

一般質問（一部抜粋）

長 沼 久 利 議員

Q 市町村合併した場合としない場合の将来像を具体的に示せないか。

A 議会の議決を得て設置される「法定協議会」以前に示すことは難しい。

Q 合併特例債の活用をどのように考える。

A 今後必要な事業・施策をぬかりなく計画計上しなければならないと考える。

Q 合併推進は行政主導でなく町民やNPO法人などの団体による推進を。

A 同感であり積極的にご指導とご高配をいただきたい。



Q 新・奥の細道「八本杉ルート」の整備を。

A 保護・周囲の保全を基本に維持管理に努め将来的に整備したい。

小 松 賢 議員

Q 葉たばこ立枯病に抜本的な取り組みを。

A 連作による影響も考えられ、JITや振興会とも協議し効果的な解決法を見つけない。

Q 「住基ネット」の秘密守れるか。

A 二重、三重のセキュリティ対策を講じており、今後も国・県の指導を受けながら万全を期したい。

Q 町学校教育の方針を敢然と示して。

A 国の新学習指導要領を基本に、不安や動揺のないゆとりある教育を目指していく。

小 野 健 議員

Q 合併による将来の絵図示して。

A 合併法定協議会で議論を重ねたうえで提示できることとなる。

Q 米政策の見直しをどう認識しているか。

A JAなどが意見集約中のほか県が市町村長から意見聴取していることに注目中で、機会あるごとに現場から提言していきたい。

Q 学校給食への地場産食材活用の体制づくりを。

A 様々な問題も抱えているものであ

り、それらを検討しながら仕組みづくりを考えていきたい。

Q 十五年四月から障害者福祉制度が支援制度に変わること施設利用はどうなる。

A 支援費は十月から受付開始、新年

早期に利用者負担額等が決定され、希望すれば今までどおりのサービスが受けられる。

鈴 木 和 夫 議員

Q 集合牛舎（牛のアパート）建設を。

A 畜産関係者で課題を整理しながら

考えたい。

Q 葉たばこ畑の土壌薫蒸剤に助成を。

A JITの対応、振興会の意見を参考に有効な手立てを講じていきたい。

Q 消防団設備の充実を。

A 不備・不足になものに対しては対応していく。

Q 家畜人工授精運営委員会の今後を検討すべき。

A 管内唯一の組織であり、存続は不透明だが総合的に検討していきたい。

小笠原教育長さん 佐藤代表監査委員さん ごくろうさまでした



小笠原 諒 治 氏
(本荘市・68歳)



佐 藤 恒 悦 氏
(館西・72歳)

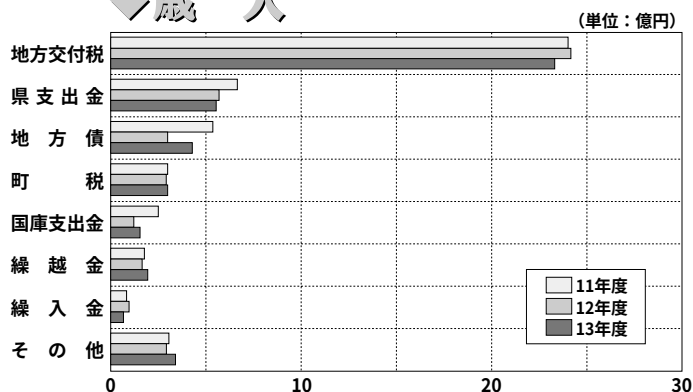
小笠原諒治教育長（本荘市・六十八歳）と佐藤恒悦代表監査委員（館西・七十二歳）が任期満了となる九月三十日でそれぞれ教育委員、代表監査委員を勇退されました。小笠原氏は平成八年一月一日に教育委員に任命されて以来、六年九月月にわたり町教育長として活躍、本町の教育環境の整備と少子化に伴う学校統合に尽力されました。

佐藤恒悦氏は、平成六年から二期八年にわたり、代表監査委員として経験と知識を生かし、補助金の使途状況調査、予算執行の監査指導など冷静・公正な監査事務にあたられました。

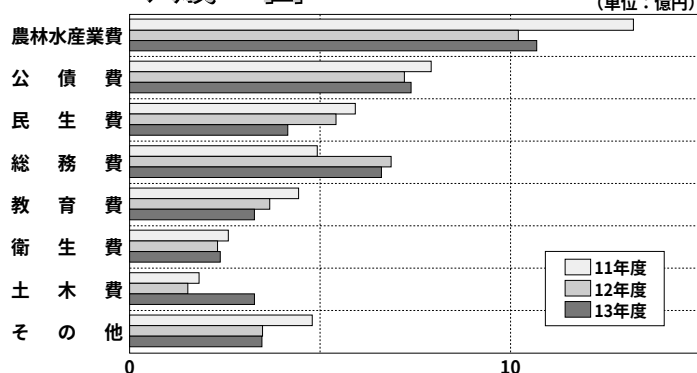
小笠原教育長さん、佐藤代表監査委員さん大変ご苦労様でした。

費目別決算の推移

歳入

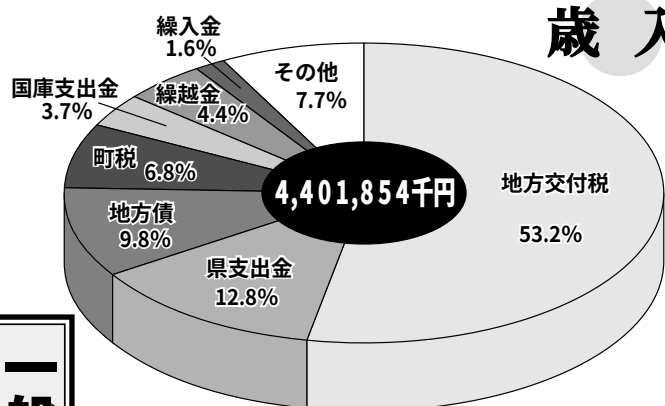


歳出

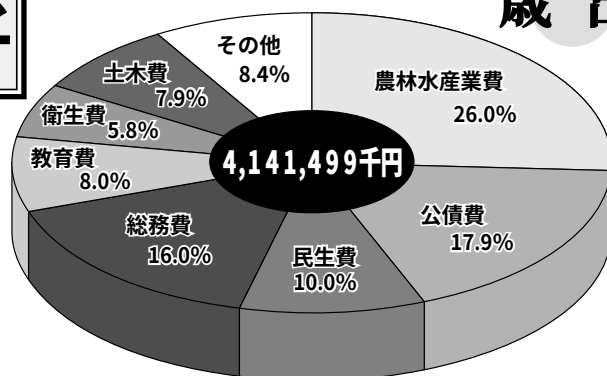


平成13年度決算

歳入



歳出



一般会計

町民1人あたりの支出は **835,654円**

一般会計決算額は、歳入総額4,401,854千円で、前年度に比べ120,695千円（2.8%）の増、歳出総額は4,141,499千円で52,376千円（1.3%）の増となり、翌年度への繰り越し財源を除いた実質収支では238,524千円の黒字となりました。

地方交付税は、2,341,450千円で前年度比3.3%の減となりましたが、一部が臨時財政対策債に振り返られているため実質的に前年度とほぼ同額。国庫支出金については、公営住宅建設や除雪車購入などの補助事業、地方債については、堆肥センターの起債などによりそれぞれ増加しています。

基金では、有用な人材育成のもとになる奨学資金貸付基金に6,000千円を積み増しし、基金総額32,000千円。

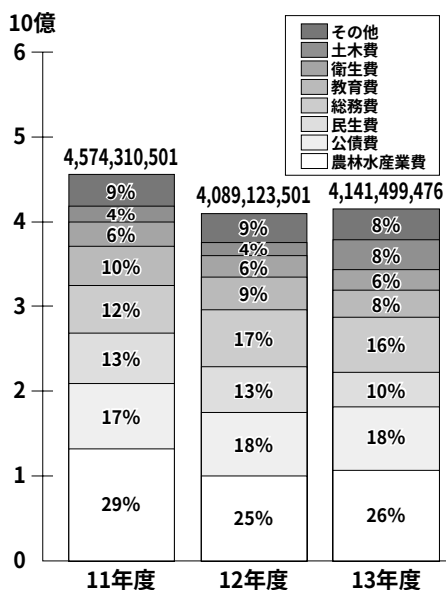
歳出では、リサイクル施設の稼働による賃金やシルバー人材センターへの委託業務等の増により、物件費が前年度に比較し36,366千円（8.3%）増加。また、養護老人ホーム寿荘建設費負担金や常備消防広域負担金および中山間地域直接支払等の増により補助費等も増加しています。

特別会計の国保事業については、被保険者が減少して保険給付費が増加。これは一人当たりの医療費が伸びているためです。

簡易水道事業は、歳入総額で前年度より41.0%減の160,772千円、歳出総額で43.7%減の147,519千円で13,253千円の黒字となりました。

農業集落排水事業は、平成13年度から蔵・法内地区の工事が実施されています。

歳出年度別決算の推移



特別会計の内訳

(単位: 千円)

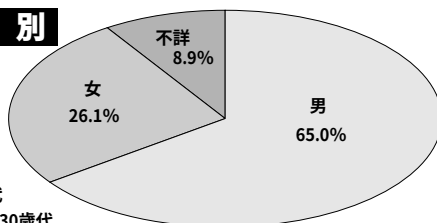
	歳入総額	歳出総額	差 引
国民健康保険事業勘定特別会計	566,085	452,147	113,938
老人保健医療事業特別会計	677,998	677,998	0
簡易水道事業特別会計	160,772	147,519	13,253
農業集落排水事業特別会計	332,792	332,669	123
特別養護老人ホーム東光苑特別会計	286,348	277,397	8,951

市町村合併に関する 集計結果 町民意識調査

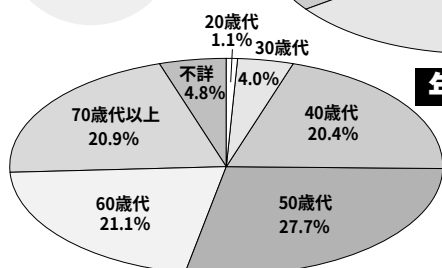
去る8月に町が行った「市町村合併に関する町民意識調査」。今回はまとまった集計結果からその概要についてお知らせします。

回答者の状況

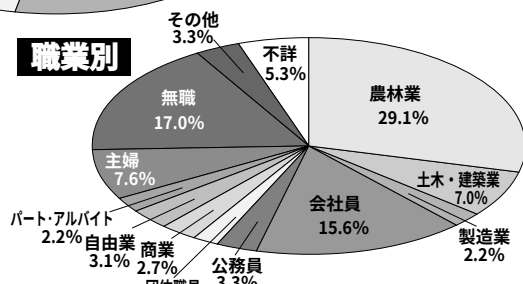
性別



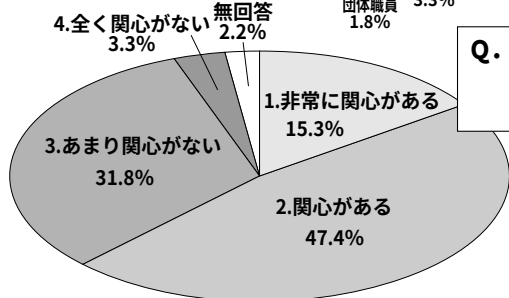
年代別



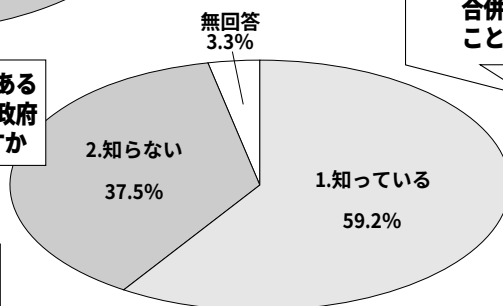
職業別



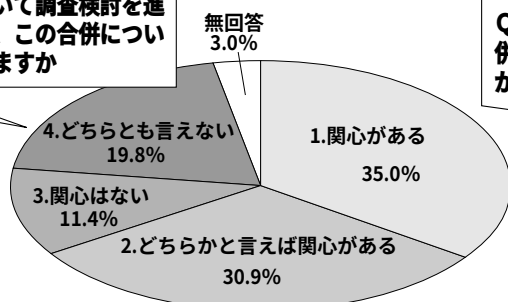
Q. あなたは市町村合併について、どの程度関心がありますか



Q. 市町村合併について、現在3,200ある市町村を1,000程度にする考えを政府が持っていることを知っていますか



Q. 現在、本荘由利地域では、仁賀保・金浦・象潟3町を除く1市7町での合併について調査検討を進めています。この合併について関心がありますか



町では8月に全世帯を対象として、市町村合併に関する町民意識調査を行いました。その集計結果がまとまりましたのでお知らせします。

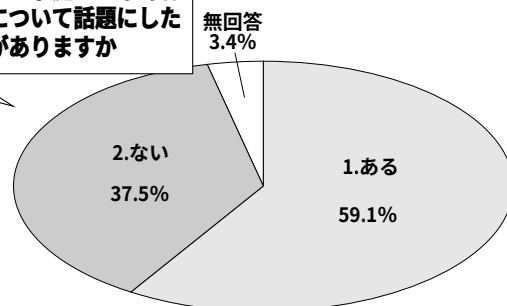
配布は全世帯に行い、各世帯の代表者に記入する方法をとりました。実施した結果、1,301枚の配布に対し940枚の回収となり、回収率は72.3%でした。

記入者の年代別を見ると、20～30歳代が全体の約5%、40歳代、60歳代、70歳代がともに約20%で、50歳代の記入が1番多く30%弱となりました。

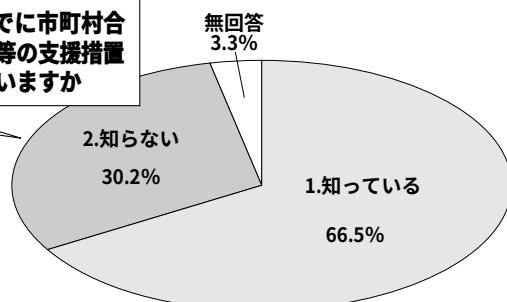
設問別に見ると、関心を問うものについては「非常に興味がある」と「興味がある」を合わせると62.7%という関心度を示し、合併による効果に対する問には「議員や役場職員の数を減らすことができ、経費節減につながる」に、また合併に際する心配事では「中心部だけがよくなって、周辺部や農村部の地域は取り残される」「行政区画が広くなるので、きめ細かい行政サービスが受けられなくなる」に多くの回答が集まりました。

平成17年3月の合併特例法による優遇措置期限が近づき、住民の合併検討への関心が高まり、もっと広く住民の意見を集約した方がよいとの声も出ています。本荘由利地域1市7町では10月下旬に合併協議参加自治体の表明が予定されており、地域の将来を考える正念場となります。

Q. あなたの家庭で、市町村合併について話題にしたことがありますか

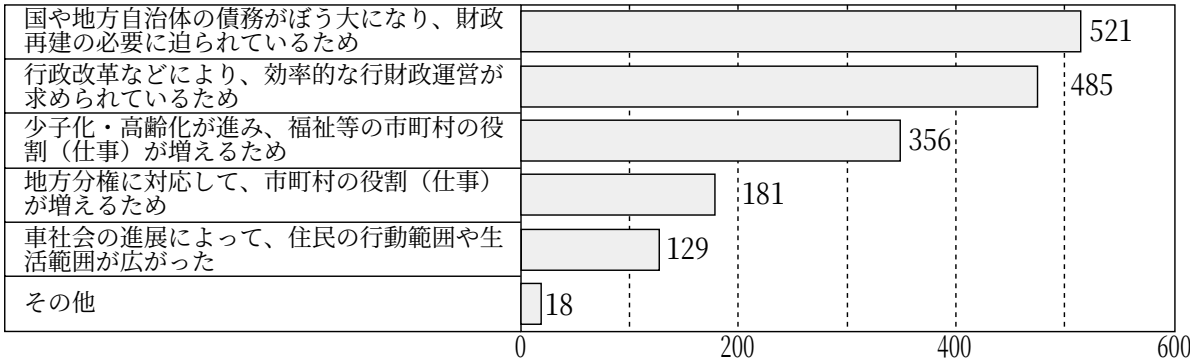


Q. 平成17年3月までに市町村合併をした場合、財政等の支援措置があることを知っていますか

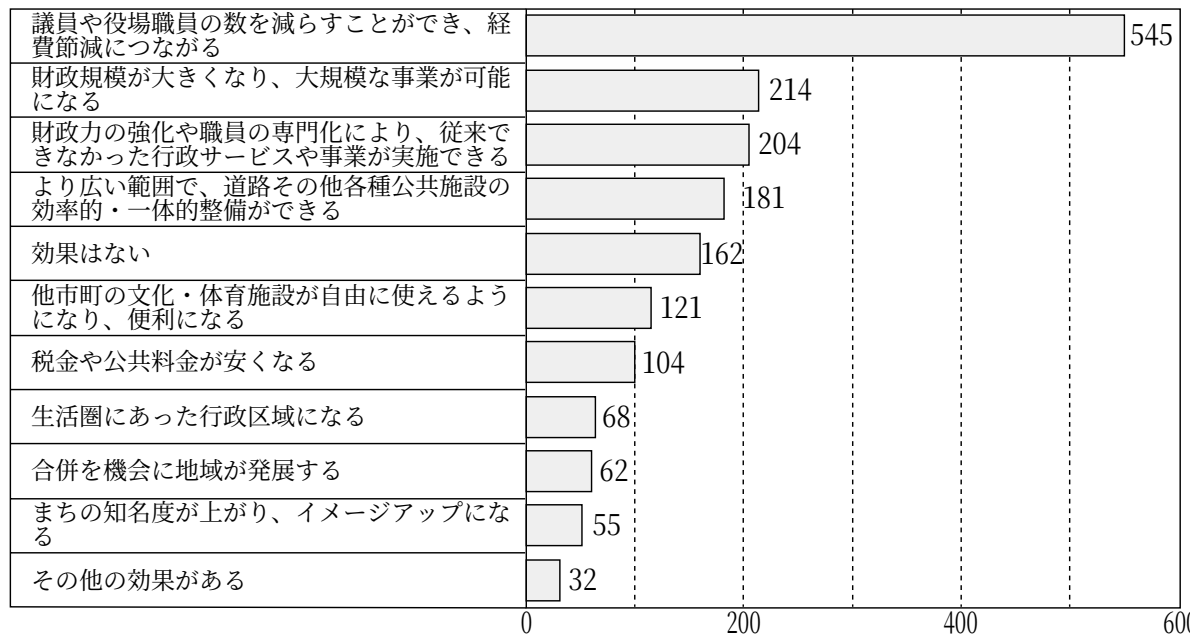


市町村合併に関する町民意識調査集計結果

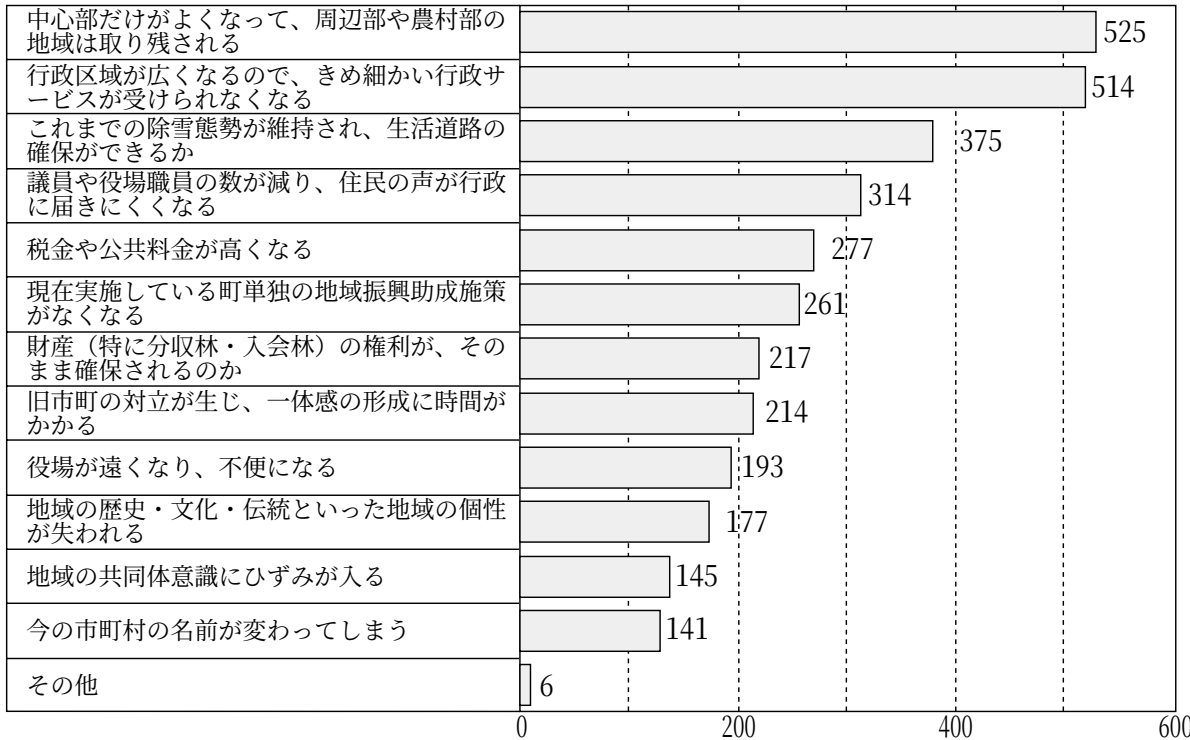
Q. 市町村合併が論議されている理由は、どのような理由によると思いますか。（複数回答）



Q. あなたは、市町村合併した場合にどのような効果があると思いますか。（複数回答）



Q. 市町村合併した場合に心配されることは何ですか。（複数回答）



年代別に見た回答状況

Q. あなたは市町村合併について、どの程度関心がありますか
(6ページの間の再掲)

全く関心がない

無回答

20～30歳代 (48人)	非常に 関心がある 19%	関心がある 50%	あまり関心がない 23%		
40歳代 (190人)	15%	47%	35%		
50歳代 (260人)	18%	51%	27%		
60歳代 (199人)	12%	50%	35%		
70歳代以上 (197人)	16%	44%	33%		

※ () は回答者数

Q. 市町村合併した場合に心配されることは何ですか
(7ページの間の再掲)

20～30歳代	13%	9%	5%	15%	8%	11%	4%	11%	3%	9%	8%	6%
40歳代	14%	9%	5%	16%	9%	12%	7%	8%	5%	7%	5%	3%
50歳代	17%	9%	4%	17%	9%	12%	5%	8%	4%	6%	6%	3%
60歳代	18%	10%	6%	15%	7%	12%	7%	8%	3%	5%	5%	4%
70歳代以上	12%	10%	8%	12%	7%	9%	9%	9%	5%	6%	5%	7%
	行政区域が 広がるので、 きめ細かい行 政サービスが 受けられなく なる	議員や役場 職員の数が 減り、住民 の声が行政 に届きにく くなる	役場が遠 くなり、 不便にな る	中心部だけ がよくなっ て、周辺部 や農村部 の地域は取 り残される	現在実施 している 町単独の 地域振興 助成施策 がなくなる	これまでの 除雪態勢 が維持され 、生活道路 の確保がで きるか	財産（特に 分収林・入 会林）の権 利が、その まま確保さ れるのか	税金や公 共料金が 高くなる	地域の 共同体 意識に ひずみ が入る	旧市町の 対立が生 じ、一体 感の形成 に時間か かる	地域の歴 史・文化 と伝統 といった 地域の 個性が失 われる	今の市町 村の名前 が変わっ てしまう

※「その他」回答を省いています。

町民から寄せられた 意見・要望

子供達の教育環境、生活環境にどの程度の影響があるのか。良い効果を期待できるが、不便さや心配な点も或る。
(30代男性)

市町村合併には反対。合併特例債を使えば借金が増えるだけ。地方交付税も10年は維持と言っているが、国が今の状態で維持できるわけではない。多額の借金をかかえている自治体が合併しても、財政運営は厳しくなるだけ。合併するべきではない。
(20代男性)

東由利町、及び住民の今後50年を左右する問題であるとの認識を持ってのぞむ必要がある。長期的な町作りのビジョンを持つ事が重要であり、期限にとらわれて拙速な議論、合併となるのは最も避けるべき事と思う。
(40代男性)

弱者が不利になるような行政にはしてもらいたくない。はじめから全てスムーズに運ぶことなどあり得ないので、10年、20年、30年と長い目で見て、全ての年代が幸福になれるような社会になれるなら、市町村合併もまたマイナスではないのかも。
(50代女性)

合併して本当に税金が安くなるのか。役場職員の数減らすことが出来るのか。
(70歳以上女性)

合併の件で心配されることは、中心部だけが強くなり山間地周辺が取り残されるのでは一番に気がかりです。山間地があってこそ中心都市も成り立っている事、お互い助け合っの精神を忘れず、基本である事を忘れずに確約をお願いします。
(60代男性)

①具体的なメリットの情報を公開して欲しい。
②合併に即賛同するものではないが、合併は新しい枠組み作りであり、新しい基準での行政、町政作りが求められる、時代の趨勢であろう。
(50代男性)

財政重視の合併ではのちに不幸な結果になると思われます。我が町のビジョンをしっかりと見すえ、目的のある合併を考えていただきたい。
(50代男性)

思い切った市町村合併をするのだから、各町村が不便にならないように、事業が効率良く、住民の不満のない住みやすい環境になって欲しいです。
(40代女性)

仕方のないことですが、市町村合併はできればして欲しくない。大幅に生活が変わるようなことのないようにして欲しい。
(30代女性)

合併した大きな「力」を、より有意義になる方向性に行かす事が大切。農業が主になり、日本を考えなければ、今後外国食料の輸入により、JAはじめ町村（東北他）がダメになっていく気がします。
(30代男性)

今までは除雪は東由利が一番良かったけど、中心部の方に取りられて悪くなつては困ります。福祉も今までよりちょっとした事は知らんと言うようにはなつて欲しくないと思います。大きくなってでもメリットがあるようにお願いします。
(60代女性)

合併によるメリットよりデメリットが多い方になる可能性あり。合併は避けられないので、極力デメリットを少なくする様にして欲しい。
(40代男性)

合併によるいろいろな問題はあると思う。現状維持は望むところであるが、我が町の人口、少子高齢化の問題を考えると合併の必要を感じる。
(70歳以上男性)

少子高齢化に伴う日本の経済生産力が低下、逆に福祉行政の充実化と相反する社会現象が出現することは目に見えているので、今から日本社会全体の効率化を図っていくためにも、市町村合併は避けて通れないこと。
(60代男性)

市町村合併について話しあう

自治会長会議

町と地域のパイプ役を担う自治会長さんの皆さんから市町村合併について活発な議論をしておらうと、「自治会長会議」が八月二十七日、有郷館で行われました。

当日は、三十六自治会の会長さんのほか阿部町長、小松町議会合併調査検討委員会委員長、役場の担当課長など約五十人が出席しました。

会議では始めに阿部町長が「地方交付税が減らされていく中、本町でも市町村合併は避けて通れない問題。合併特例法の期限も迫ってきて

おり、本荘由利の各市町では十月までには態度を決めることになっている。町の将来について間違いない判断をしていくためにも自治会長さんの幅広い意見を寄せてほしい」とあいさつ。

会場からは▽行政サービスの低下などが心配される。住民一人ひとりの視点に立って合併に取り組んでほしい▽若い人の関心がない。もっと若い人の意見を聞く機会を設けてはどうか▽合併協議会が立ち上がったしまえば、住民の意見は届かなくなるのではないか▽住民にも合併の具体的な情報を開示してほしいーなどの意見や質問が出されました。

これに対し、町当局では▽中心部だけがよくなるということのないような仕組みを講じていきたい▽特に年代層を限っての会というものは開催していかないが、いつでもどんな年代・団体・グループのところにも出向く準備はしている▽合併協議会で話し合われたことはその都度住民に公表されていくし、住民の意見が届かないということはない▽広報などを通して情報を提供していきたいーと答えました。

▲自治会長会議の会場の様子



心配された夏の八月だったので残暑に期待するとこの日記に書いたら、本当に今度は心配するような暑さが続きました。でもおかげで心配された稲作はやっと平年作の秋になるようです。

九月四日、東光苑も設立十七年目になりますが、初めて百歳の入所者ができました。田代出身の佐藤アキさんで明治三十五年のお生まれであります。

当日、県からのお祝いを持って来られた柴田由利福祉事務所長さんと共に、東光苑入所者の皆さんと一緒に百歳誕生日のお祝いをしました。これで二月に誕生日を迎えられた小倉の高橋タケヨさんとお二人になります。益々のご長寿を祈念いたします。

十日から二十日までは九月町議会定例会でした。九月議会は平成十三年度の決算認定議会でもあります。この九月いっぱいでは任期を終えられる小笠原諒治教育長、佐藤恒悦代表監査委員にはそのお働きに心から感謝を申し上げ、益々のご健康を祈念致しました。

十二日には金婚式がありました。今年対象となるご夫婦は三十組で、この日は十六組が出席されました。いつもながら穏やかない会でありました。皆さんは昭和二十七年のご結婚ですから日本も講和条約を結び戦後の日本を立ち上げて行く出発のころでありました。皆さんの働きのお陰で今日があることに感謝を申し上げ、益々のお二人揃ってのご健康を祈念いたしました。

十五日には、能代工業高校のバス部が下郷分校の閉校記念事業の一環として来町し、分校生徒と交流試合が行われました。

町長日記

秋田経法大学のバスケットとの交流試合も行われましたが、素晴らしい空中戦と形容するような試合を見せてくれました。一九〇を越える選手たちが全力を尽くす試合に感動させられました。これは伊藤下郷分校教頭先生のお力ぞえによって実現したことでした。あの迫力に分校生共々感じ入ったことでした。



▲野焼きを楽しむついで

十九日には第二十八回全県野焼きを楽しむ集いが「八塩いこいの森」で開催され、秋田市や本荘市由利郡から愛好者が世界に一つというご自分の作品をもってお集まりでありました。久しぶりの晴天に恵まれての野焼きで、生のススキの煙が八塩山麓に盛大に上がってこれも壮観でした。例年の如く八塩小の生徒たちも参加していました。この集いは燿幻会の小松幸子先生のお力によるものですが、愛好者のみならず、子どもたちや我々もドキドキさせてもらえるものです。

二十九日にはパークゴルフ秋田県支部大会が「八塩いこいの森」で開催されました。あいにくの雨模様をものともせず、百人を越える全県各地からのご参加でプレーを楽しまれておりました。

朝夕はめっきり冷えて来ました。風邪には注意をして実りの秋を頑張りたいものです。



▲オーストラリアのおいしい牛肉を堪能



▲農業科で飼育しているダチョウに餌を与える



▲農業科のバーンズ先生からオーストラリア式農業について学ぶ

中学生海外研修が8月7日から9日間の日程で行われ、東和利中学校の16人がオーストラリアのセントラルコースト市を訪問しました。現地の子どもたちとの交流やホームステイなど貴重な体験をしてきた中学生たちの研修レポートをご紹介します。

中学生海外研修



16人がオーストラリアへ

○阿部 愛 美さん

ホストファミリーとは言葉が上手く通じなかったけど、一緒にゲームなどして楽しめた。言葉は通じなくても心は通じるんだなと思った。研修を通してオーストラリアの良さを知ることができたし、日本の良さも知ることができた。

○木島 和 也さん

この海外研修は自分をステッ

プアップさせた研修だった。ホストファミリーはとても温かく親切だった。別れはつらかったが、いろいろな体験ができ一生の思い出になった。

○佐藤 百 恵さん

オーストラリアの町並みはまるで映画の中にもいいるんじゃないかと思うくらいきれいだった。今回の研修では、オーストラリアに友だちができたことが何より嬉しかった。

○小 番 達 裕さん

オーストラリアの人々は初対面の人にも気軽に声をかけてくれて、とてもフレンドリーでおもしろいなと思いました。日本でもこうであればいいなと思いました。

○畠 山 亜由美さん

ホームステイでは靴のまま家に入ったり、お風呂もシャワーだけだったり文化の違いも多かったけど、家族の仲がいいところはどこの国でも同じだなと思った。

○八 嶋 利 之さん

農業科の授業ではダチョウの卵の中身の出し方や羊の毛刈り、ムチの使い方などを習った。また、現地の小学生に折り紙を教えたときは、みんな喜んでくれたのでよかった。



▲ホストファミリーと涙の別れ



▲小学生に折り紙を教えて交流の輪を広げた



▲グリーンポイントクリスチャンカレッジの生徒とスポーツ交流

今年の金婚カップルは30組

これからもお幸せに



平成14年度合同金婚式

平成14年度 金婚カップルのみなさん

(敬称略)

遠藤 松治郎 (78) ・チ ヨ (72)	蔵
阿曾 彦二 (75) ・ア イ (77)	宇戸 坂
佐藤 武蔵 (75) ・ト シ (71)	泡ノ 沢
大場 吉二郎 (71) ・ミ ネ (70)	山崎
高沢 清吉 (78) ・ミ ヨ (74)	葎ノ 前
大日向 忠 (74) ・マ ツ (72)	宮ノ 新
佐野 良太郎 (73) ・サダエ (77)	館合 田
畠山 勝郎 (73) ・千美子 (73)	茂 沢
佐々木 重美 (70) ・敏 子 (70)	大 琴
大庭 時雄 (72) ・キエ子 (68)	船 木
遠藤 富造 (78) ・ナツミ (81)	野 田
小野 安男 (73) ・サタミ (69)	館合 新
小松 久雄 (86) ・文 子 (78)	下 小 路
浅田 富蔵 (74) ・ヒデ子 (72)	大 琴
小松 伍亮 (78) ・キ ミ (76)	十二ノ 前
石渡 恭成 (75) ・久 (69)	蔵
畑山 賢次郎 (75) ・アヤ子 (71)	横 渡
小松 七次郎 (77) ・フ ヨ (71)	横 上
浅田 菊雄 (73) ・タカ子 (72)	大 通
小松 穂穂 (71) ・保 子 (69)	湯 出
鈴木 實 (75) ・キ エ (72)	袖 野
阿部 與市 (71) ・ヒサコ (69)	岩 山
遠藤 儀市 (71) ・カ ズ (71)	祝 沢
遠藤 昇 (71) ・ミヨ子 (69)	横 小 路
木島 敏 (72) ・ケ サ (68)	大 台
高橋 一男 (72) ・ナ ツ (71)	松 柴
長谷山 悦雄 (71) ・ス ミ (70)	石 高
長谷山 善一郎 (79) ・アキミ (71)	地下ノ 沢
横山 勝雄 (71) ・トクエ (71)	泡ノ 沢
小笠原 慶蔵 (72) ・デル子 (71)	横 渡

平成十四年度東由利町合同金婚式が九月十二日、有鄰館で開かれました。

今年金婚を迎えられたご夫婦は昨年より十組多い三十組六十人。昭和二十七年中に結婚され、今年十二月三十一日までに婚姻五十年を迎えるご夫婦が対象で、最高齢は男性が八十六歳、女性が八十一歳、最若齢は男性が七十歳、女性が六十八歳です。

当日は、対象者三千組のうち三十七人が元気に出席。式の前には記念撮影が行われ、晴れ着姿に緊張気味な面持ち

がカメラにおさめられていました。

式では阿部町長と遠藤町議会議長がお祝いを述べたあと、出席された金婚者に町からお祝い状と記念品が贈られました。

式のあとには祝宴が行われ、金婚者が踊りや歌を披露するなど、皆で楽しいひとときを過ごしていました。

金婚者の中には現役で活躍されている方もおり、今後の更なるご活躍が期待されます。



▲町長から祝い状を受け取るご夫婦

ありがとう さよなら

下郷分校



第21期生
小野寺武夫さん（板戸）

台山の新校舎が完全にできあがるまでは、各学年で教室を半分ずつ区切って授業を受けていました。落成式では在校生の他に卒業生の方々もたくさん集まってきて、校舎の完成を共に祝い合った記憶があります。

今思うと、学びながら働いたあの学生時代があってこそ今の自分があるのではないかと思います。あのころの思い出と仲間は私にとってかけがえのないもの。その母校がなくなるというのはとても残念です。

※先月号の「ありがとうさよなら下郷分校」で阿部タツ子さんが『第8期生』と紹介されましたが、『第9期生』の誤りです。おわびして訂正します。



▲旧下郷村役場を改造した校舎

▼新校舎建築現場の様子



新独立校舎実現までの道

昭和34年4月、東由利村役場新庁舎の開庁に伴い、旧下郷村役場を改造、待望の独立校舎に移転しました。しかし、新しい校舎にも運動場はなく、階下の教室を即席道場として利用したり、蔵小学校の運動場や校庭を借りるなど、未だ不便さは解消されませんでした。

そして昭和45年10月24日、苦節22年の時を経て念願の新独立校舎が台山に完成。新校舎建築時は人手が少なく教師や生徒も工事にかり出され、校舎の全容が完成するまで3年の月日がかかったといえます。同年11月17日には、新校舎落成式が約400人の出席者を迎えて盛大に行われています。

第2回やしお紅葉まつり共催イベント

やしお紅葉まつり開催期間：10月26日（日）～11月4日（日）

- 10/26（土）10:00
- 八塩いこいの森「こうふくの橋」付近
- 町民ならどなたでも参加可
- クヌギ、ヤマボウシ、ナナカマド、モミジ、ブナなど140本植樹

役場庁舎竣工記念

東由利町植樹祭

湖上もみじ鑑賞会

主催／東由利町観光協会

- 10/27（日）
- 八塩ダム湖
- 10:00～15:00
- ボートは無料です

- 10/27（日）
- 鳥居の沢登山口から
- 10:30出発
- 雨天の場合は中止
- 頂上で参加者に「いものこ汁」サービスの予定です

紅葉の八塩登山

主催／東由利町公民館・住吉分館

紅葉まつり 新そばフェア

主催／八塩そば生産組合

- 11/3（日）
- 八塩いこいの森センターハウス
- そば打ち体験ができます
①11:00 ②13:00 ③14:00
- 試食と新そば即売があります

- 11/3（日）9:00開会
- 八塩パークゴルフ場
- 大人400円、小人200円
- 賞品、参加賞多数
- 参加申し込みは町公民館か八塩いこいの森センターハウスへ

紅葉カップ パークゴルフ大会

主催／東由利町パークゴルフ協会

出店予定／農産加工食品・きのこ・山菜・フランス鴨料理など

役場庁舎建設工事

11月20日に竣工式

天井・内装工事も急ピッチで



役場庁舎建築工事は、外装の塗装が終盤を迎え、内装工事が本格化しています。なかでも天井と塗装工事がメイン。各部屋とも照明や空調設備の位置が決められ、機材の取付に向け着々と進んでいます。

外部足場が徐々にはずされ一段と目をひくのが展望室。面積が15.43平方メートルのこの部屋は、ほぼ360度町内を見渡すことができます。地上約18メートルの高さにあり、台山の文教施設とほぼ同じ標高。エレベーターや階段を使って利用することができます。

町庁舎建設室では「竣工式を11月20日に予定している。現場作業も終盤に入っており、事故の無いように十分注意したい」と話しています。

佐藤アキさん 元気に百歳

町特別養護老人ホーム東光苑に入所している佐藤アキさんが、九月四日百歳の誕生日を迎えられました。

アキさんは明治三十五年九月四日旧下郷村老方で生まれ、昭和二年に田代の故・佐藤末治さんと結婚、平成十年十二月から東光苑に入所しています。

目と足が少し不自由な以外は健康で食欲も旺盛。自らの長寿について「若い頃から大好きなリンゴをたくさん食べたおかげ」と元気に話していました。



▲町長からの祝い状を受ける佐藤さん



▲バースディケーキのロウソクを一気に消す元気な佐藤さん

誕生日を迎えた日、東光苑では施設をあげて百歳を祝福。県からは柴田由利福祉事務所長、町からは阿部町長がかけつけ、長寿祝い金とお祝いのメッセージを贈りました。

セレモニーのあと東光苑の職員が誕生パーティを開催。入所者の家族会からは大きなバースディケーキが届き、アキさんは灯された十本のロウソクの火を一気に消すほどの元気ぶりを披露しました。

本町の百歳以上はアキさんのほか、今年二月に百歳を迎えられた高橋タケヨさん（小倉）の二人。また、来年三月には伊東潔さん（石館）が百歳の誕生日を迎えられます。

本町から3人が喜びの受賞

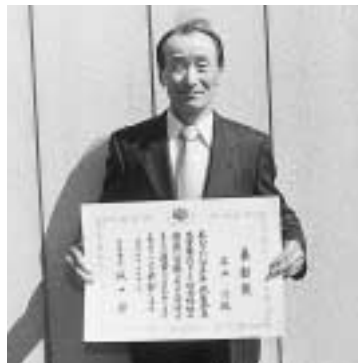
県社会福祉大会

秋田県社会福祉大会が九月三日、秋田県民会館で行われ、本町からは社会福祉事業に貢献のあった次の三氏が表彰されました。



畠山さんに厚生大臣特別表彰

畠山清さん（袖山）は民生委員児童委員功労者として厚生大臣特別表彰を受賞しました。



▲畠山清さん

畠山さんは昭和四十九年から二十七年間の長期にわたり同委員を務められ、困っている方々の相談や支援に取り組むなど地域の福祉向上に貢献されました。今回の表彰はその功績が認められたものです。



遠藤 高橋さんに秋田県知事表彰



▲遠藤繁さん

遠藤繁さん（家の下）は社会福祉関係団体の功労者として秋田県知事表彰を受賞しました。遠藤さんは、みどり保育園の理事長として長年にわたり社会福祉事業の振興発展に貢献していることが認められたものです。



▲高橋しげ子さん

また、高橋しげ子さん（館合新田）はホームヘルパー功労者として同表彰を受賞しました。高橋さんはホームヘルパーとして長年にわたり在宅福祉の向上に貢献していることが認められたものです。

「明るい選挙」を推進します

10人に委嘱状を交付



▲獄石選挙管理委員長が委嘱状を交付

このたび、本町に「東由利町明るい選挙推進協議会」が新たに設立され、九月二日、役場会議室で十人に獄石文男町選挙管理委員長から委嘱状が交付されました。

同協議会は、町民の自主的な協力によって、「明るい選挙」の実現を図ることを目的にしています。「明るい選挙」とは、お金やプレゼントを受け取ったり、義理人情によるものではなく、自分の考えで正しく投票する選挙のことをいいます。

同協議会では「明るい選挙」を推進するために、今後、啓発や宣伝活動を進めていくことにしています。

阿部善孝さん緑十字銅賞受賞

秋の全国交通安全運動



▲喜びの阿部さん

平成十四年秋の全国交通安全運動の本荘署管内表彰伝達式が九月二十一日、本荘警察署で行われ、蔵の阿部善孝さんが緑十字銅賞（安管功労）を受けました。

阿部さんは平成四年から（株）大沼組の安全運転管理者として、また、本荘地区安全運転管理者協会の理事として地域の交通事故防止のために活躍。今回の受賞はその長年の功績が認められたものです。

白寿おめでとございます

伊東潔さんに祝い状



▲白寿のお祝いを元気に受け取る伊東さん

今年三月に白寿（九十九歳）を迎えられた岩館の伊東潔さんに、総務大臣から祝い状と記念品が届けられ、長谷山博昭老万郵便局長が伝達しました。

伊東さんは息子さんと二人暮らしで、耳が少し遠いほかはとても健康で、日中は好きなテレビ番組を見て過ごしています。

来年三月に迎える満百歳の誕生日を、息子さんと共に楽しみにしていました。

名門・能代工業バスケット部と夢の対戦

下郷分校閉校記念バスケットボール招待試合

下郷分校閉校記念バスケットボール招待試合が九月十五日、町健康増進センターで開催され、県立能代工業高等



能代工業バスケット部と対戦する下郷分校生

学校と秋田経済法科大学の対戦に町のバスケットボールファンが詰めかけました。

この招待試合は来春閉校する下郷分校の記念事業の一環で、全国で常にトップを誇る能代工業高校バスケットボール部のプレーを間近で見たいという下郷分校生の願いが実現したものです。

試合は、秋田経済法科大学が七〇対六十八で接戦を制しました。

招待試合の前に、下郷分校と能代工業高校の交流試合も行われ、下郷分校の生徒たちにとって忘れられない一日となりました。



知っておきたい Q&A

Q.

65歳未満ですが、脳梗塞で入院し介護を必要とする状態になりましたが、介護保険の申請はできるのでしょうか。

A.

40歳から64歳の第2号被保険者であれば、介護保険の申請をすることができます。ただし、要介護状態である原因が加齢に伴って生じる心身の変化に起因する疾病（特定疾病）であることが要件となります。

要件となる特定疾病は政令で定められた15疾病になります。脳血管疾患や初老期における痴ほう、骨折を伴う骨粗鬆症などがありますが、病名については主治医に相談し申請手続きをされるとよいでしょう。

問い合わせ 町民福祉課福祉係 69-2117

戸籍を電算化します

シリーズ⑥

○氏名の文字に関する告知書

今回の戸籍の改製により氏名の文字の表記が変わる方には11月末ころにお知らせの通知（告知書といいます）を郵送します。通知には改製後戸籍で使用する文字を記載しますのでご確認ください。

「文字の表記が変わる」とは、戸籍法上使用できない文字を使用できる文字に置き換えることですが、現在の戸籍が手書きによるクセ字であるために今回活字として判断し、常用漢字に置き換えたものがほとんどです。

○住民票の文字

戸籍の氏名の表記が変われば住民票の表記を戸籍に合わせる必要がありますが、当町では昭和56年に住民票を電算化しており、その時点では対応する常用漢字を使用していますので今回住民票の文字が変更される方は少数です。

問い合わせ 町民福祉課町民係 69-2117

ヘルシークッキング Vol.28

よりよき生活習慣で病気を予防する



「豆腐と魚介の炒め物」(4人前)
《材料》(大…大さじ、小…小さじ)
木綿豆腐240g、冷凍むきエビ80g、冷凍むきイカ80g、刺身用ホタテ80g、チンゲン菜160g、干しシイタケ8g、長ネギ20g、魚介類の下味用調味料▼塩少々、こしょう少々、清酒小1・5、ごま油小1弱、かたくり粉少々、調味料▼ショウガ12g、サラダ油小2、塩小1、こしょう少々、中華あじ2g、かたくり粉大1

《作り方》

①中華鍋に干しシイタケ、下味を付けた魚介類、水切りした豆腐を入れ炒め、長ネギを入れ調味料を加え味を付ける。

②チンゲン菜は鍋に塩、サラダ油を入れゆでる。

③チンゲン菜を器にしき、その上に①を盛る。

《アドバイス》

食欲の秋を迎え、ついうっかりすると肥満傾向となりがちです。いろいろな食材を取り入れつつ、カロリーを抑えたこんな一品はいかがでしょう。

(小松保健婦)

年金だより



年金受給者の届出

☆誕生日が来たら…現況届

「現況届」は、引き続き年金を受ける権利があるかどうかを、年1回社会保険庁で確認するための届です。現況届の用紙は、誕生月の月初めに社会保険業務センターから送付されます。この届が提出されないと、年金の支払いが一時差し止めになりますので忘れずに提出してください。

☆引っ越ししたら…住所・支払機関変更届

住所が変わったときは、「住所・支払機関変更届」を、10日以内に社会保険事務所へ提出してください。住所変更といっしょに受け取る金融機関の変更をする場合は、新しい金融機関の証明が必要になります。

☆年金証書を無くしてしまったら…年金証書再交付申請書

年金証書を無くしたりしたときは、「年金証書再交付申請書」を社会保険事務所へ提出してください。

届出は忘れずに！

問い合わせ 町民福祉課町民係 69-2117

東由利・成立

区 分	頭数	平均体重	平均価格	kg当単価
去 勢	13	297kg	463,050円	1,487円
雌	15	269kg	391,370円	1,379円
全 体	28	282kg	424,650円	1,429円

最高価格

	金 額	父	母の父	母の祖父
去 勢	568,050円	美津福	北国7の8	紋次郎
雌	586,950円	北国7の8	紋次郎	賢 深

(平成十四年九月・平均価格
四十五年生～五十五年生)

径 級	単 価 (石)	備 考
直材36cm上	5,288～6,554	90年生材含む
24～34cm	3,720～5,229	〃
14～22cm	2,726～2,756	〃
13cm下		
曲 り 材		

出品量が少なく全般的に応札があり、約90%の落札率で、価格は保合であった。

林業
だより
地球温暖化対策

環境問題の一つである地球温暖化の対策について、地球温暖化対策推進大綱が策定され、地球温暖化防止に向けて、化石燃料の消費削減等の温室効果ガス排出を削減する努力に加え、森林の持つ二酸化炭素の吸収、貯蔵機能を持続的に発揮させることも重要な対策となっています。

本年六月に閣議決定された京都議定書により、わが国は二酸化炭素削減目標六割達成することを世界に約束しました。

た。六割達成には、森林吸収源対策による削減三・九割の達成が不可欠としており、林野庁としては、二〇〇三年から二〇一二年までの十年に「地球温暖化防止森林吸収源十年対策」を展開し、森林の整備、間伐対策の推進などの健全な森林整備と建築および工作物における木材使用の推進、未利用木材資源利用促進など木材資源有効利用の推進のほか、国民参加の森林づくり等の推進を計画的に実施することとしています。

(町林業懇話会長
佐藤恒悦氏)

おとなり情報

～本荘由利の催物などを紹介します～

本荘市から

米まつり

と き…11月2日(土)～4日(月)
ところ…本荘市市民第2体育館ほか
内 容…ちびっ子広場、笹巻き体験コーナー、新米プレゼントなど
本荘市農林水産課 24-6303

平成14年度 本荘市由利郡発明工夫展作品募集

内 容…11月2日から4日まで開催される第50回本荘市由利郡発明工夫展への作品を募集。発明工夫の部、特許の部、廃品利用の部。
申込締切…10月18日(金) 午後5時まで
本荘市由利郡発明振興協会事務局
(本荘市商工観光課) 24-6322

大内町から

おうち牛堪能まつり

と き…10月13日(日) 10:00
ところ…はーとぽーと大内(ぼろっこ向かい)
内 容…焼肉堪能コーナー・即売コーナー
大内町産業課 65-2216

第46回 大内町民祭

と き…10月26日(土)、27日(日) 9:00
ところ…役場前駐車場、町民体育館ほか
内 容…とろろ飯大会(申込問合/大内町産業課 65-2216)、文化講演会「親ばかにつける妙薬」講師・三瀬顕氏 ほか
大内町社会教育課 65-2210

象潟町から

第10回 三崎山国盗り合戦

と き…10月6日(日) 9:30
ところ…三崎公園
内 容…今年で最終回。新たなイベントも追加。
象潟町商工観光課 43-7504

2002 モトクロス秋田県選手権第4戦

と き…10月13日(日)
8:30開会式 9:00スタート
ところ…象潟モータースポーツランド
参加費…シングル7,000円、ダブル10,000円、ジュニア85cc 4,000円
申込先…秋田県二輪車安全普及協会
0188-62-6219
象潟町モータースポーツ協会
44-2544

川袋川「サケまつり」

と き…10月20日(日) 10:00
ところ…川袋センター前
内 容…サケのつかみどり、獅子舞と九十九島太鼓など
川袋川鮭漁業生産組合 46-2634

岩城町から

第10回 あまさぎワインまつり

と き…10月6日(日) 正午開会 11:30受付
ところ…天鷲城前広場
内 容…ワイン飲み放題(新ぶどうワイン試飲)、大ジャンケン大会などイベント多数
入場料…前売券2,500円、当日券3,000円(天鷲ワイン、天鷲村、道の駅「岩城」、町内小売店、秋田市アトリオンなどで9月20日から発売)
あまさぎワインまつり実行委員会 74-2100

矢島町から

花立高原秋まつり

と き…10月6日(日) 9:30
ところ…鳥海高原花立牧場公園
内 容…ウォークラリー、パークゴルフ大会、つり大会など
矢島町企画商工観光課 55-4953

由利高原鉄道特産品まつり

と き…10月12日(土) 10:00
内 容…由利高原鉄道沿線の本荘市・由利町・矢島町・鳥海町の特産品を即売。無料おぼこ号も出ます
矢島町企画商工観光課 55-4953

金浦町から

第22回魁星旗争奪少年サッカー大会

と き…10月12日(土)～14日(月)
ところ…TDK秋田総合スポーツセンターグランド、岡の谷地グラウンド
金浦町公民館 38-2049

由利町から

ザ・股旅 in ゆりの里

と き…10月20日(日)
10:00開場 11:00開演
ところ…由利中学校体育館
内 容…股旅舞踊の舞台発表。東北各大会のチャンピオンが多数出演
入場料…1,500円
由利町商工会女性部 53-3314



子育てのこと

悩んでいませんか

子育ては親だけが担うことだと思っていませんか？
子どもを育てることは未来の日本を支える人材を育てることなのです。社会の一人一人、みんなが主役なのです。

今回の生涯学習だよりでは、教育文化課で行っている子育て事業の一部を紹介します。

例えばあなたは日常でこんな悩みをもっていないませんか。

「育児が不安でたまらない。みんなどうしているのかな」

「子どものしつけってどうすればいいのかな」

「私に子どもが育てられるだろうか」

「朝から晩まで子どもと向き合っている暇が詰まりそう」

「ときどき激しく子どもを叱ることがある。これって虐待？」

「夫が忙しいことはわかる。でも私の話も聞いてほしい」

「おじいちゃん、おばあちゃん子どもを甘やかさないで」等

など……。でもこれはかならずしもあなたに原因があるとは限らないのです。

意識の多様化・変化の時代に

現在、子育てをめぐる問題は、放っておけない状況になっていきます。近年育児不安の増大、児童虐待の急増などが問題になっています。この背景として子どもへの接し方や教育の仕方が分からない親の増加や、しつけ、子育てに自信がない親の増加、過保護や過干渉、無責任な放任など、家庭教育力の低下があるのではないかと指摘されているのです。

家庭教育は教育の出発点

では家庭教育とは何でしょうか。家庭教育とは、親や、これにかわる人が子どもに対して行

う教育のことです。すべての教育の出発点となるものです。

乳児期からの深い絆で結ばれた家族とのふれあいを通じて、子どもが基本的な生活習慣・生活能力、人に対する信頼感・豊かな情緒、思いやりや善悪の判断、社会的なマナーなどを身につける役割を担っています。ここで父親の役割が重要になってくるのは言うまでもありません。しかし、家庭の教育力の低下は個々の親だけの問題ではありません。都市化や少子化、核家族化、地域の人々とのつながりが減少したことなど、子育てを支える仕組みや環境が崩れていることや、子育てに十分時間を取ることが難しい職場環境があることなどにも目を向けなければなりません。

子育ては未来の人づくり

だからこそ今、「社会の宝」として子どもを育てることが必要なのです。子育ては、企業などや社会にとって大切な未来の

人材を育てるものです。社会全体が、子育てを応援し、支えていくことが求められます。

「子育て講座」は子育てをテーマにした講演会

教育文化課では、若いお母さん、お父さんのために様々な子育て支援事業を行っています。

一つ目は「子育て講演会」です。これはPTA参観日、保育参観日などで講師を迎えて子育てに関する講演会を行うものです。今年、各保育園、小学校などの協力を得て実施していますので、受講された方も多いのではないのでしょうか。

テーマは子育てに関する身近な話題です。当日のアンケートでもほとんどの参加者が再度の実施を望んでおり、今後も引き続き実施する予定です。



▲子育て講演会から（八塩小学校）



▲子育てサポーター講習会から

「子育てサポーター」が若い親の相談相手に

二つ目は「子育てサポーター」です。分かりやすく言えば、子育てサポーターは小さな子どもを持つ若い親たちの応援団です。具体的には相談相手や仲間のない子育て中の親と友だち感覚でつきあい、行動を共にしたりして相談相手になる人です。

町の子育てサポーターは
青木榮子さん（田代）
八嶋シゲさん（上通）
阿部栄子さん（蔵）
小野玉枝さん（上里）
小松和子さん（山崎）
村上圭江さん（石高）
の六人で、この春から各養成研修、講習会などで子育てサポーターの心得を学んでいます。

▼新解さんの謎／赤瀬川原平
▼メイク革命／かづきいこ
▼クマにあつたらどうするか／柿崎等
▼シティ／アレックス・バリ
▼ウォーターランド／G・スウィフト
▼ドナの結婚／ドナ・ウィリアムズ
▼どろぼうの神さま／C・フンケ
▼片付けられない女たち／S・ソルデン
▼壺中天酔歩／水掛良彦
▼おしゃぶりマンボ／現代洋子
▼黄色い本／高野文子
▼捨て犬のココロ／藤本雅秋
▼めげないで／大野隆司

新着本紹介

9月

▼今月も公民館図書室に新刊本が入りました。読書の秋です。みなさんぜひご利用ください。
▼へいきじゃないけどいきだよ／大野隆司
▼日本ばちかん巡り／山口文憲
▼太っ腹対談／東海林さだお
▼ひとが否定されないルール／日本流奈
▼ひとを好きになつてはいけないといわれて／大沼安正
▼パカモン！／永井一郎
▼古今東西陶磁器の修理うけおします
▼甲斐美都里
▼銅像めぐり旅／清水義範
▼東京少年／長野まゆみ
▼虹／吉本ばなな

▼負け犬／清水辰夫
▼晴子情歌 上・下／高村薫
▼青空の卵／坂本司
▼スローグッドバイ／石田衣良
▼熱球／重松清
▼風の耳朶／灰谷健次郎
▼秘密の花園／三浦しをん
▼ニッポンの犬／岩谷光昭
▼子供たちが教えてくれたこと／M・ペアレント
▼ゼラニウム／堀江敏幸
▼わが朝鮮総連の罪と罰／韓光熙
▼飲むほどに酔うほどに／重金敦之
▼都道府県別全方言小事典／佐藤亮一
▼夕海子／薄井ゆうじ
▼北前船おっかけ旅日記／鑑啓記



▲子どもたちの笑顔のために私たち“大人”が出来る事は……

実際の活動はこれからですが、まずは十月二十七日(日)に町民体育館で実施される「こどもまつり〜わんぱくフェスタ In 東由利」への参加(子育てサポーターコーナー)を皮切りに、今後、ホームページの開設、子育てサロンの主催、また子育て相談などの活動を行っていく予定です。
子育てに不安や悩みはつきものです。子育てにちよつぱり疲れたお母さん、お父さんが羽を休める止まり木のような場所になることが子育てサポーターの役割といえるでしょう。

気軽に子育て相談を

なお、子育てサポーターのこ

10月27日(日)午後からは町民体育館に集合!



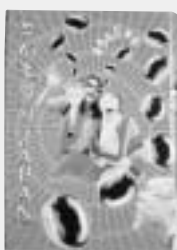
こどもまつりはこどもと親、そしておじいさん、おばあさんが楽しむお祭りです。
当日は大型道具、緑日や大道芸、紙芝居などの昔の遊び、本の読み聞かせ、もちつきなど盛りだくさんの行事で皆さんをお待ちしています。
秋の一日、童心に返ってみませんか。

と、子育てに関する相談など子育てに関する事で知りたいことがありましたら、教育文化課まで(電話六九二二二二)ご一報願います。個人の秘密は守りますのでお気軽にお問い合わせ

参考資料…「社会の宝」として子どもを育てよう! (報告) 今後の家庭教育支援の充実についての懇談会 平成十四年七月十九日

してください。

今月の一冊



「とんまつりJAPAN」
みうらじゅん著/集英社

あんまり大きな声で言えませんが、本人はたつて真面目にやっています。見てる方にとつてはまたおもしろい感じがするのではないでしょうか。真面目ではあるけど、笑いの油火が注がれて、つい「アツ」といって、ごめんなさい、笑っちゃダメだね、でもおかしい!という、そんな感覚、著者のうらじゅんは、この本を出すために18回もそれを経験している。そんな思いを18回、ささかったらう、いや、おもしろかったのか。

この本は、著者が全国の「もつ」ともたらしく言えは「奇祭」18箇所を訪ねて回ったレポート本、でもちょっと学術的ではない。「祭り」と言うだけあって、神霊

にたずさわる儀式として、それぞれの祭りに歴史的背景や、意味、由来などがあるはずなのだが、あえてそれは深く追求せず、著者が感じた所だけをすらすらカメラに

秋の一日を充分に堪能

～第26回全県野焼きを楽しむつどい～

古代 大自然の脅威にさらされ、数多くの困難にさいなまれながらも暮らしていた人々が、道具らしい道具も持たずに作った土偶や縄文土器のもつおらかな美しさ、明るさを現代に再現しようと、毎年行われている「全県野焼きを楽しむつどい」が今年も九月十九日に行われました。



▲灰の中から次々に自分だけの作品が現れた

▲もうもうと白い煙が立ち上った

八塩いこいの森野営場で行われているこの陶芸イベント。当日は快晴の秋空のもと、各町陶芸愛好者、地元陶芸愛好者、町陶芸教室参加者、八塩小学校児童など関係者百七十余名が参加して実施されました。

昭和五十二年に始まり、二十六年を数えるこのつどいは県内陶芸愛好者の自己研鑽の場であり、交流の場として親しまれています。

開会式後、町陶芸団体燿幻会小松幸子会長と大曲市の大塚三郎講師が、わらとカヤに点火すると白い煙が天高く立ち上り、同時に参加者たちから大きな歓声が上がりました。

野焼きは、焼きものの原点であり、古代の焼きものの手法です。まず、長さ十メートル程度にワラを敷き、その上に素焼きした陶芸作品を乗せます。さらにワラで作品を包み込み、刈り立てのカヤを被せ、ザツパをのせて原始的な窯を作ります。点火した後は、カヤなどをかぶせるなどして、窯の中で均等に火が通るように調整します。約三～四時間後、カヤやワラが燃えつきた後、作品が自然に冷めるのを待ち完成です。

作品が一つ一つ灰の中から出てくる度に「自分のイメージど

おりの作品に仕上がった」「世界にひとつの自分だけの作品に感激した」などの声があちこちで聞かれました。

参加者たちは東由利町の雄大な自然の中、秋の一日を充分に堪能し、帰路につきました。

この野焼き作品は十月二十六日(土)、二十七日(日)の両日開催される秋まつり生涯学習作品展で一般公開される予定です。ぜひご覧ください。



▲「イメージ通りの作品」と満足気

情報ボックス

家族みんなで参加しませんか

～第2回パークゴルフ大会～

昨年度好評だったパークゴルフ大会が今年も開催されます。秋の一日を八塩いこいの森でパークゴルフに興じてみませんか。初心者はもちろん家族での参加も大歓迎です。

■日時 十月六日 午前九時から
■場所 八塩いこいの森パークゴルフ場

■部門 ・一般男子、女子の部36ホール(18ホール×2)

■参加料 小学校の部18ホール
・大人の部400円 子供・300円
(用具借用の場合別途100円)

■参加対象 町内在住および町内勤務者

音楽にふれてみませんか

～第十回ひがしゆり音楽祭～

小松音楽兄弟を称える音楽祭が行われます。この機会に郷土が生んだ音楽家の作品にふれてみませんか。鑑賞はどなたでも自由です。

■日時 十月二十日 午後一時三十分から

■場所 東由利中学校体育館

■内容 郡、町内コーラスグループ、町内小中学校保育園ほか



▲外郭南門の説明をガイドから受けることぶき大学生

平安の世へ思い馳せ ことぶき大学移動研修

日頃見慣れた町内を出て、他地域の文化にふれようと、毎年行われていることぶき大学の移動研修。今年は九月十一日、仙北町の国指定史跡、弘田柵跡で研修を行いました。

当日参加したことぶき大学生は百八名。この史跡を訪れるのはほとんどが初めての体験。弘田柵跡は東北最大級の広さ（八十九万㎡）を持つ古代城柵です。

参加者はその広さに驚きの声をあげつつ、しばしの間、千二百年前、遙か彼方にある平安の世へと思いを馳せました。



▲秋空のもと、元気に11キロを歩く参加者

秋空のもと、旧横荘線を歩いてみよう、九月二十二日に第二回横荘線メモリーウォーキングが実施され、東由利、雄物川両町民はじめ県内外から百余名が参加しました。

この行事は雄物川町二井山から道の駅東由利までの旧横荘線、約十一キロを歩くことで、体力作りはもとより、横荘線に携わった先人の業績を称えようと、昨年から行われているものです。

参加者たちは約三時間の道のりを自分のペースで仲間たちと楽しみなが歩いていました。

先人の業績たどる 横荘線メモリーウォーキング

公民館行事から

第9回東由利町スポーツ祭総合成績

総合順位	自治会名	世帯数	トラック & フィールド							ゲートボール大会				総合点
			参加点	ゲートR	クリーン	2連発	ワールド	親子3代	合計点	参加点	勝利点	順位点	合計点	
1位	蔵	40	12			30	30	3	75	5	6	20	31	106
2位	上通	30	12		25				37	5	9	25	39	76
3位	高下屋	21	12			20	20		52	5	9	10	24	76
4位	横渡	30	12	10	20		25		67	5	3		8	75
5位	蔵新田	44	12	30					42	5	9	10	24	66
6位	下通	53	12		30				42	5	9	10	24	66
7位	大琴	88	12			5		6	23	5	6	30	41	64
8位	小倉	30	12	20			15		47	5	6		11	58
9位	新町	80	12		5			3	20	5	9	10	24	44
10位	大吹川	14	12	25				3	40					40
11位	須郷田	20	12			25		3	40					40
12位	宇戸坂	27	12		15				27	5	3		8	35
13位	下小路	33	12				10	3	25	5	3		8	33
14位	館合新田	39	12						12	5	16		21	33
15位	時雨山	21	12	5		10		3	30					30
16位	桂台	6								5	9	15	29	29
17位	袖山	24	12					6	18	5	6		11	29
18位	祝沢・茂沢	16	12	15					27					27
19位	松柴	39	12			15			27					27
20位	野田	18	12		10				22	5			5	27
21位	船木	24	12					3	15	5	6		11	26
22位	石高	24	12				5		17	5	3		8	25
23位	湯出野	16								5	9	10	24	24
24位	地下ノ沢	19								5	9	10	24	24
25位	新処	19	12						12	5	6		11	23
26位	寺田	24	12						12	5	6		11	23
27位	宿	28	12						12	5	6		11	23
28位	田代	32	12					3	15	5	3		8	23
29位	向田	10	12					6	18					18
30位	久保	19	12					3	15					15
31位	横小路	18	12						12					12
32位	山崎	20	12						12					12
33位	館西	21	12						12					12
34位	五海保	23	12						12					12
35位	中通	26	12						12					12
36位	高村	8								5	3		8	8
37位	十二ノ前	18								5	3		8	8

※総合得点と同じ場合は、高順位のある方が上位。それも同じ場合は、世帯数の少ない方が上位。



▲視察一行に説明する町陶芸団体「耀幻会」小松幸子会長

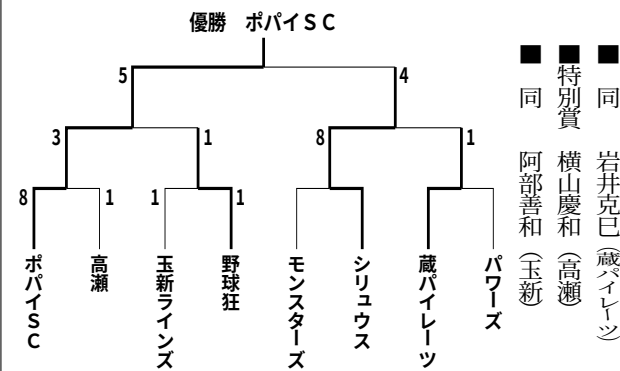
町の陶芸活動を視察
九月十三日、町陶芸教室の活動状況視察のため、東成瀬村一行十余名が、町陶芸作業所を訪れました。

激しい戦い繰り広げる
第九回社会人野球秋季選抜交流大会
夏に行われた第四十四回町社会人野球大会。九月十五日、同大会上位八チームが参加し、第九回町社会人野球秋季選抜交流大会が開催されました。

上位八チームということもあり、当日は激しい戦いが繰り広げられました。

当日の結果および個人賞は次のとおり（敬称略）

■最優秀選手 長谷山智昭（ポパイ）
■優秀選手 菊地晃（シリウス）
■敢闘選手 遠藤洋（野球狂）



ふるさと 六四
むかじむかじ

屁っぷり嫁コ

むかしむかし、あるところに気立ての良い働き者の嫁コがおり、姑も嫁コの旦那も「本当にいい嫁コに恵まれた」といって喜んでおりました。

ところがある日のこと、嫁コが青い顔をしてふさぎこんでいるので、姑の母親は、「どうしたの。どこか具合が悪いのかい」とたずねました。嫁コは顔を赤らめて「恥ずかしいことですが、一日一回大きな屁をしないとどうにもならないのです。里の母親から、よそに行ったら決して屁をしないようにと固く戒められたので、我慢していたら具合が悪くなって…」と本当のことを言いました。

これを聞いた姑と旦那は、大笑いし「我慢することはない。屁は人間なら誰でもするもの。遠慮せず思いつきやりなさい」と言うので、嫁コはホッとしながら、「そうですか。すみません、母さんも旦那さんも、その柱につかまっついてください」というが早いか、「ブッポ」と雷の響きを感じる尻を一発、まるで台風のよ

うです。家はグラグラに揺れ、姑は天井に吹き飛ばされ、腰を打ちつけて大けがをしてしまいました。

姑も旦那も「こんな途方もない大屁を毎日やられてはえらいことだ。すまないが縁がなかったとあきらめて、実家に帰ってくれ」と嫁コを里に帰すことにしました。

嫁コの旦那も送っていいこうと一緒に里に向かう途中、梨の木の下で梨を取ろうと、子どもたちが石を投げたり棒で突いたりして騒いでいました。子どもたちがいくら石を投げても一つも取れない様子に、里へ帰されることだしよんぼりしていた嫁コは急にいきいきと明るくなり、「その梨、私が取つてあげよう」と言う

うと、梨の木にお尻を向け、着物の裾をまくり力いっぱい「ブッポ」と大きな大きな屁を一発ぶっ放しました。すると、大きな梨の木は根本か



(文と絵 石渡力造氏)

らグラグラと揺れ、梨が一つ残らずバラバラと落ちてきたので子どもたちは大喜びです。

そのとき、たまたま通りかかった旅の殿様も家来に梨を拾わせて食べました。甘い梨のおかげで旅の疲れが取れた殿様は大喜びで嫁コにお礼の小判をどっさりくれたのでした。

これを見ていた旦那は、「こんな役に立つ嫁コを里には帰されな」と家に連れて帰りました。家に帰った嫁コは一日一回の大きな屁ではなく、何回も小出しにしながら夫婦仲良く暮らしたということです。

季節を詠む

(せせらぎ句会)

天こがし秋草積んで野焼会	下小路 小松 メサ
畦を行く臍に絡まる稲穂かな	高戸屋 小松 敏雄
露草に祭了えたる旗降ろす	家ノ下 小松 正昭
半月に血の色を見し熱帯夜	中通 小松 順之助
平穩に今日の一日や白木槿	新町 寅田 敏雄
風の日は風と睦みて懸煙草	五海保 嶽 石 レイ
コスモスの揺れと語りて暮るる道	時雨山 吉川 葉子
秋の蝶米粒ほどの花にさへ	横小路 宮野 源二郎
さからわず真赤に炎ゆる唐辛子	蔵新田 小野 貞子
長生きもほどほどがよし秋裕	舟木 大庭 喜右衛門
南部鉄秋の風鈴良く鳴れり	蔵新田 小笠原 亮子
一人の居間野を飛ぶように鬼やんま	上里 小野 石露子
草の花休耕なりし札の立つ	舟打場 高橋 民治郎
コスモスのやさしくゆれて風厄日	久保 高橋 典三
新涼や尾びれを立てる化粧塩	小倉 遠藤 トミ子
屋根を塗る夫を案じる残暑かな	蔵新田 小笠原 トミ
消ゴムで消せぬ記憶の終戦日	横渡 高橋 ヒデ子
刈られてもまた逞しく秋の草	山崎 小松 良子
群雀御身らも毛見のするごとく	横小路 小松 丈介



伊東 そらと
島（賢悟さん）



小松 すずな
久保（修治さん）



梅津 たいち
大琴（正明さん）



小松 まなみ
大琴（五郎さん）

ちびっこ大集合

元気にすくすく育ってま〜す

〜2歳児健診から〜

むし歯のなかった子
にはマークがつ
いています



横山あまね
石高（和也さん）



小野 ひろあき
大琴（良雄さん）



太田 るか
蔵（久隆さん）



長谷山あほ
地下ノ沢（直人さん）



小松 さとな
家ノ下（仁さん）



高橋 るな
久保（宏幸さん）



小野みかこ
須郷田（晃一さん）



小松 まこと
畑村（淳子さん）



畠山 れな
寺田（伸さん）



遠藤 せんり
新町（吉喜さん）



畠山 ゆうこ
地下ノ沢（弘喜さん）



小野 ゆな
館合新田（美幸さん）



小松 かずき
（新町・1歳）
お父さん：晃 さん
お母さん：真智子さん
お話し：真智子さん

名前の由来は？

「周りを和ませてくれるような子になってもらいたかった
ので、『和生』と付けました」

性格は？

「マイペースでお姉ちゃんににいじめられてもあっけらかん
としています」

好きなものは？

「『となりのトトロ』です。ビデオをつけると何をしていて
もすぐに飛んできます」

お父さんとお母さんから和生くんへひとこと

「何でもたくさん食べて元気いっぱい遊んでください。お
姉ちゃんとも仲良くネ」



横山 秀之さん（泡ノ沢・21歳）

一職業は

板金屋です。

一趣味は

休日はドライブをして過ごします。

一性格は

優しい性格だと思います。

一目標（夢）は

早く一人前になること。

一理想のタイプは

何でも前向きに考えられる人。

一家族に一言

いつもありがとうございます。



東由利
郷土の野草

NO.212

オヤマボクチ (キク科)

文・写真 小松忠正氏

四国、中部地方以北の山野に自生する大形の多年草で乾いた草原や林縁に多く見られます。高さは1 近くに

なり、茎は直立し、短い枝をつけた長さ15〜35ほどの長楕円形で裏面に白色の綿毛をつけたような葉をつけます。上部の葉には葉柄がありませ

- こめい福をお祈りいたします
- 8/21 小松 昌樹さん 79 英治・父・八日町
 - 8/22 遠藤 次雄さん 78 トミ・夫・宿
 - 8/27 小野 廣世さん 54 タミエ・子・島
 - 9/6 遠藤 ウタさん 79 常雄・母・家ノ下

フィルムひとこま



役場の窓から見えるソバの花です（9月3日撮影）。小さな白い花がたくさん集まった様子はまるで白いじゅうたんのよう。ほのかに黄色を帯びてきた稲穂とのコントラストも美しく、この季節ならではの田園風景に思わずシャッターを切りました。（広報担当）

戸籍の窓口

（8月21日〜9月20日届出）

●ご結婚おめでとう

- 8/31 高橋 貴 至さん 矢島町
- 高橋 美由紀さん 寺田

おれ

（8月21日〜9月20日）

広報送付謝礼として次の方から金一封をいただきました。

川崎玲子さん（相模原市）、工藤秀晃さん（山形市）

社会福祉協議会に次の方からご芳志が寄せられましたのでご紹介します。

遠藤美さん（宿、玉米農協婦人部 貸衣裳部）

ほっとひといき

私事ですが、このたび結婚しました。今まで両親の元でぬくぬく育てきたせいか、結婚後は家事の多さに圧倒されています。夫婦2人だけといっても仕事をしながらの家事は結構大変。やはり家事は女がするものという考え方はまだまだ根深いのか、よく「ちゃんと旦那さんにご飯を作ってるか？」などと聞かれます。「家事は分担してるよ」と言うとみんな口をそろえて「いいねえ」と。最近共働きの夫婦も増え、男女共同参画社会の実現が叫ばれていますが、「それが普通だよ」という答えが聞ける日はいつ来るのかなあ。（管）

データ東由利

住民基本台帳

	8月末人口	前月比
男（人）	2,378	－ 3
女（人）	2,546	1
計（人）	4,924	－ 2
世帯数（戸）	1,380	2

	8月異動人数	1月からの累計
出生（人）	0	12
死亡（人）	3	38
転入（人）	4	43
転出（人）	3	89

消防・交通

	8月発生数	1月からの累計
火災出動（件）	0	2
救急出動（件）	10	83
交通事故（件）	0	7
死亡（人）	0	0
傷者（人）	0	8
飲酒運転（件）	0	0
酒気帯び（件）	0	2

カレンダー 10月の行事予定

- 2 予防接種（集団・ポリオ）
- 3 機能訓練教室
- 4 就学時健診
- 6 町民パークゴルフ大会
- 8 予防接種（個別・三混）
- 9 3歳児健診
- 10 予防接種（個別・日本脳炎）
- 13 東中祭
- 14 体育の日
- 16 乳児健診
- 食生活改善講習会
- 17 ことぶき大学
- 福祉と健康のつどい
- 20 第10回ひがしゆり音楽祭
- 23 機能訓練教室
- 24 予防接種（個別・日本脳炎）
- 26 やしお紅葉まつり（～11/4）
- 秋まつり2002（～27日）
- 27 こどもまつり
- ～わんぱくフェスタ2002（健康増進センター）
- 29 フォーラム「道の駅と地域づくり」（有鄰館）
- 30 フレッシュ教室
- 11/1 成分献血
- 11/2 下郷分校閉校記念式典
- 11/3 文化の日
- 11/4 振替休日
- 11/5 予防接種（個別・三混）